貸借対照表

(2022年3月31日 現在)

株式会社DXコンサルティング

(単位:円)

		資	産	の	部				負	債	の	部	
	科	目			金	額		科	目			金	額
【流	動	資	産】	[392,	508, 973]	【流	動	負	債】	ľ	191	1, 477, 242 】
普	通	預	金		264,	568, 236	買		掛	金		53	3, 507, 289
売	1	掛	金		118,	149, 742	契	約	負	債		2	2, 326, 241
契	約	資	産		3,	408, 280	未		払	金		(6, 949, 894
貯	Ī	蔵	品			218, 600	未	払	費	用		16	6, 018, 728
前	ì	度	金		3,	550, 168	預		り	金		2	2, 489, 690
前	払	費	用		2,	601, 282	未	払 消	費利	兑 等		31	1, 867, 100
立	Ē	辪	金			12,665	未	払 法	人利	兑 等		48	8, 703, 700
							未	払 事	業	所 税		1	1, 103, 000
							賞	与	引 当	金		27	7, 279, 600
							役	員 賞	与 引	当 金		1	1, 232, 000
【固	定	資	産】	[20,	295, 171]	【固	定	負	債】	[ę	3, 402, 323]
(有	形 固	定	資 産)	(2,	360, 535)	長	期	未 払	金		ć	3, 402, 323
エ	具 器	具(備 品		5,	899, 642	負	債	合	計		194	4, 879, 565
工具	具減価値	賞却累	計額		△ 3,	539, 107			純	資 産	の	部	
(無	形 固	定	資 産)	(8	(43, 329)	【株	主	資	本】	ľ	217	7, 924, 579 】
自名	土利用ソ	フトウ	ウエア		8	43, 329	【資	Ĭ	本	金】	ľ	50), 000, 000]
(投)	資その	他の	資産)	(17, 0	91, 307)	【資	本	剰 余	金】	[\triangle 6	5, 386, 494]
繰	延 税	金	資 産		17,	091, 307	(?	この他!	資本剰	余金)	(\triangle 6	5, 386, 494)
							【禾	山 益	剰 余	金】	ľ	174	4, 311, 073]
							(?	この他	利益剰	余金)	(174	4,311,073)
							緽	東越 利	益剰	余金		174	4, 311, 073
							純	資	産 合	計		217	7, 924, 579
資	産	合	計		412,	804, 144	負	債 純	資産	合 計		412	2, 804, 144

個 別 注 記 表

(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

- I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - 1. 固定資産の減価償却方法
 - (1) 有形固定資産 定額法または定率法を採用しております。
 - (2) 無形固定資産 定額法を採用しております。
 - 2. 引当金の計上基準
 - (1) 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期中の負担額を計上しております。

(2) 役員賞与引当金 役員賞与の支出に備えるため、当事業年度末における期末要支給額を計上しております。

3. 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。

Ⅱ.会計方針の変更に関する注記

収益認識に関する会計基準の適用

当事業年度より、「収益認識に関する会計基準」を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

当該会計基準は一部遡及適用され、会計方針の変更の累積的影響額は当事業年度の期首の純資産の帳簿価額に反映されております。この結果、株主資本等変動計算書の利益剰余金の遡及適用後の期首残高は3,940,366円増加しております。

Ⅱ. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行済み株式の数

普通株式 1,000株